

国際オートメカニク科			2026年度 授業計画		
時 期	1年前期	単 元	一般	教科名	一般教養 1 A
科 目	一般	教科書等 持参品	ベスト総合問題集N3 Japan Times		発行日
総時限	21		ポイント＆プラクティス文法N3 スリーエーネ		2026年4月1日
総時間	33.6		パワードリル文字語彙N3 アスク出版		教科 担当
単 位	2				
坂口 正憲					
石井 隆幸					
外部講師					

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

日本語教育について十分な知見のある外部講師と連携して、自動車整備士としての実務経験のある教員が実施する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

専門学校での新生活や地域社会に馴染むための基礎的なコミュニケーション能力を養うと同時に、JLPT（N2/N3）の出題形式を理解し、語彙・文法・読解・聴解の各分野における基礎的な土台を構築することを目指します。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

日本の生活習慣やマナー、慣用句などの一般常識を理解できる。

JLPTの各セクション（言語知識・読解・聴解）の解き方の基本パターンを理解できる。

第1回模擬試験を通じて、現在の自分の実力と合格ラインとのギャップ（弱点）を把握できる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

平常点（30%）： 毎回の宿題（パワードリル・言葉を覚えようなど）の提出状況と達成度。

授業への参画度（20%）： ペアワークやクイズ、授業内の発言への積極性。

小テスト・模試（50%）： 随時実施する漢字・語彙クイズ、および第10コマで実施する「第1回模擬試験」の成績。

5. 準備学習

予習（約30分）： 次回扱う『ベスト』の「言葉を覚えよう」の単語に目を通し、意味を確認しておくこと。

復習（約60分）： 授業で間違えた文法ポイント（ポ&プ）の例文をノートに書き写して音読する。指定された『パワードリル』の範囲を解き、次のフィードバックに備えること。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。

国際オートメカニックス科

2026年度 授業計画

[illegible]

※ 期末試験は授業時間に含まない